



1 『興亡史』2006 200×200cm
高橋コレクション／撮影：宮島徑

2 『ニホンカモシカ』2006 30.7×22.5cm
(公財)東京動物園協会発行「どうぶつと動物園」掲載

3 『予兆』2008 190×340cm
株式会社アステナブル・インベスター所蔵／撮影：久家靖秀

4 『カバ』2009 21.2×27.5cm
(公財)東京動物園協会発行「どうぶつと動物園」掲載

5 『Gate』2010 22×27cm
個人蔵／撮影：宮島徑

6 『存在』2004 145×205cm
Collection of JOAN AND MICHAEL SALKE

7 『ふたつの水面』2010 22×27cm
Collection of Andrea Krantz and Harvey Sawikin
撮影：宮島徑

8 『はなかまきり』2004 18.3×27cm
個人蔵／撮影：宮島徑

9 『モリオウムシ』2011 22×30cm
個人蔵／撮影：宮島徑

10 『ヨーテ』2008 30.7×22.7cm
(公財)東京動物園協会発行「どうぶつと動物園」掲載



2



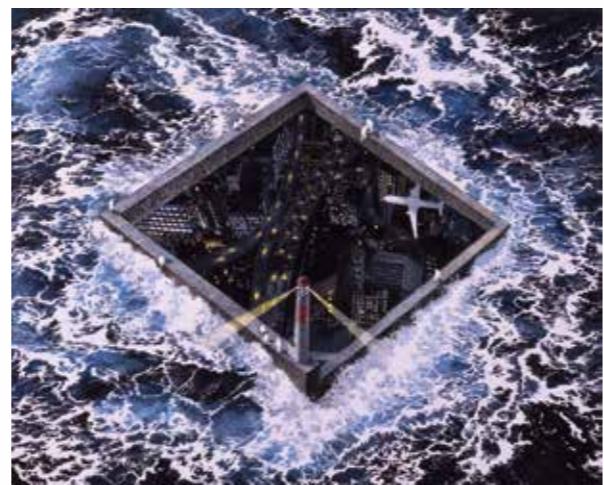
5



7



4



6



8

このスケール、この緻密さ、まさに空前絶後。

わずか1mmに満たないペンの線から壮大な世界を描き出すアーティスト、池田学(1973～)。1日にぎりこぶしほどの面積しか描き進めることができないという画面は、緻密さと空間の広がりを併せ持ち、現実を凌駕する異世界の光景を私たちに呈示します。これまで日本をはじめ、韓国、ドイツ、カナダ、アメリカ、ロシアなどでグループ展に参加、2011年にニューヨークで開催された「Bye Bye Kitty !!!」展では、その作品がニューヨーカー誌に「魔法のよう」と評されました。また同年に、ニューヨーク・タイムズのアート & デザインの記者が選ぶ、その年に最もインパクトを与えた作品“Best of 2011”的一つに選出されるなど、国際的に高い評価と注目を集めます。

本展覧会は、これまでの池田の画業の全貌を紹介する、初めての大規模個展です。アメリカ・ウィスコンシン州のチェゼン美術館の滞在制作プログラムで3年にわたり制作中の巨大な新作《誕生》をはじめ、国内外のコレクターや美術館が所蔵する作品の数々が、池田の出身地・佐賀に集結します。池田作品のほぼすべてを網羅する約120点に新作のスケッチや制作の記録もあわせて、あふれるばかりの池田の想像力の秘密に迫ります。

[関連イベント] 各イベントの詳細や最新情報は、特設Webサイトでご確認ください。

○池田学 アーティスト・トーク

作家・池田学が展覧会場をご案内。

ここでしか聞けない制作秘話などをお楽しみください。

日時 = 1月28日(土)、2月12日(日)

いずれも14:00～15:30

*参加無料(ただし観覧券が必要)・事前申し込み不要

○記念講演会

講師 = ラッセル・パンチエンコ氏(チェゼン美術館館長)

日本や世界の美術史から見た池田学作品の魅力や見どころを、幅広い視点からお話しいただきます。

日時 = 1月21日(土) 13:30～15:00

場所 = 佐賀県立美術館ホール

*参加無料・事前申し込み不要。通訳付き。

○クロストーク

[池田学 × 三浦末雄 × 金子剛]

池田学を知り尽くす、三浦末雄(ミヅマアートギャラリー)と金子剛(元佐賀北高等学校教諭)をゲストに迎えての鼎談。

どんなエピソードが飛び出すのか、当日をお楽しみに!

日時 = 1月22日(日) 13:30～15:00

場所 = 佐賀県立美術館ホール *参加無料・事前申し込み不要

○あらかしコンサート

本展にちなみ、ジャズのコンサートを開催します。

日時 = 2月4日(土) 14:00～15:00

場所 = 佐賀県立美術館ホール

出演 = 荒木真衣子 ほか

*参加無料・事前申し込み不要

○博物館・美術館セミナー

子どもたちのためのワークショップ

「池田さんの絵の世界で遊ぼう!」

ただ作品を見るのとはちょっと違った方法で、

池田さんの作品をより深く、楽しく味わってみましょう。

日時 = 2月25日(土) 13:30～15:00

場所 = 佐賀県立美術館2階画廊

講師 = 野中耕介・秋山沙也子(佐賀県立美術館学芸員)

*対象 = 小学生のおさんとそのご家族

*事前申し込み必要・定員約20名(申込方法は当館Webサイトに掲載します)

